

第6回 災害対策委員会

平成27年2月26日(木) 15:00～
経団連会館「パールルーム(南)」



委員28名の出席を得て、第6回災害対策委員会を開催いたしました。

今回は気象庁 予報部予報課 気象防災推進室の板井防災気象官をお招きし、『気象情報の効果的な活用について』と題してお話を伺い、意見交換を実施しました。会議後半では、「国連防災世界会議関連事業への参画」について討議を行い、3月14日からの事業実施へ向けて、出展内容等の最終確認を行いました。

※関連事業の実施報告につきましては、11～12ページをご覧ください。

講演 気象情報の効果的な活用について

板井防災気象官からは、自然災害で命を落とす人をひとりでも減らすために、行政から段階的に発表される防災気象情報を積極的に活用して、早め早めの避難等の適切な行動を促し、取っていくことの重要性について、大変熱のこもったお話をいただきました。

1. はじめに ～ハード防災とソフト防災の違い、他～
2. 段階的に発表される防災気象情報 ～天気図で表現できる現象とレーダーで表現できる現象、他～
3. 段階的・早め早めの行動 ～平常時・異常時 共に連携した対応を、他～

質疑応答では、民間の力の活用や農業分野との連携、国際情勢などについて活発な意見交換が行われました。



気象庁 予報部予報課
気象防災推進室
防災気象官
板井 秀泰 様

